



鳥の鳴き声装置の更新

今年 3 月に展示館 1 F レクチャールーム横の鳥の鳴き声を聞くパネルボードを更新しました。これまでは、静止画での声でしたが新装置では動画映像とともにさえずりが聞こえるので、臨場感が増しています。また、画面も 75 インチの大画面で迫力もあります。

新装置は、HDMI 端子による外部入力が可能となり、大画面のディスプレイでパワーポイント資料の説明が可能となりました。イベントでの説明など利用頻度も高まり、貴重な戦力となっています。皆さんも、ぜひご覧になってください。



👉 迫力の大画面

イベント時の様子



ジュニアナチュラリスト養成講座 ねいの里研修

今年も 7/10 に県のジュニアナチュラリスト養成講座が開催され、ねいの里でも研修を行いました。

約 60 名の受講生を迎え、展示館内やフィールドの森と水辺で生き物の種類や生態を勉強しました。ジュニアといえども、水生昆虫やトンボ・バッタの知識豊富な子供たちが多く、大変な賑わいとなりました。

将来のナチュラリスト達は、ねいの里でのこの研修を覚えていてくれるでしょうか。今後、自然保護活動に関わり、ねいの里のことも大切にしてくれるよう成長を願うばかりです。



水辺の生態園 茅の除去



水辺の生態園では近年茅の繁殖が著しく、写真の島部分の状態が全体に広がり、他の植物が成長できない状態でした。そこで、子供たちがねいの里に来ても水辺で昆虫採集などが楽しめ、ゆっくり遊べるスペース確保のため、職員たちは茅の除去を試みました。

何回かの除去活動の結果、写真の状態までになりました。その結果、子供たちは中に網を入れたり入水したりと楽しんでいます。島部分は虫や水生昆虫の隠れ家として残してあります。

(実は、職員が疲れて除去を諦めた部分です)

ちょっとは池らしくないました？

除去している際、この茅の中にモリアオガエルの卵塊を多数見つけました。木の上だけでなく、草むらにも産みつけるんですね。

そのためか、池の中にはオタマジャクシがたくさん泳いでいて、子供たちの人気者になっています。これを知った親子が「持って帰って育ててみたい！」と・・・



ミナミアカヒレタビラの生息確認

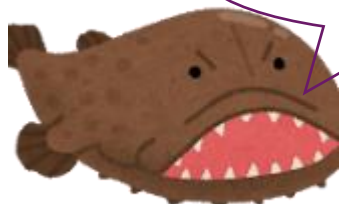


ミナミアカヒレタビラとは、富山県の絶滅危惧Ⅰ類(環境省 絶滅危惧ⅠB類)に指定されているタナゴの仲間です。富山県の個体群は国内分布の北限とされており、二枚貝に産卵するためこの二枚貝の生息環境の保全と外来魚の駆除が必要となっている貴重な魚です。

このミナミアカヒレタビラが、7月の行事の際、水辺の生態園で生息していることを確認しました。3年前に一度捕獲して以降、捕獲がなく絶滅を覚悟していたところなので、大変うれしい出来事でした。

昨年、ドブ貝を入手したので念のため放流していたことが功を奏したのでしょうか。池にはドブ貝の生息も確認しており、外敵から逃れ繁殖してくれるよう切に願っています。

なお、捕獲したミナミアカヒレタビラは1匹だけ展示館の大型水槽で展示しています。体長2cm程度の幼魚なので目立たないですが、興味のある方は会いに来てください。



俺とは違うやつだな〜ッ!



展示中のミナミアカヒレタビラ

● (7月4日) ちびっ子自然体験 2回目



今回も午前午後ともに30人を超える応募があり、当選者のみの参加となりました。

今回は焼き芋やクロモジ茶の体験もあり、水辺の昆虫や水生生物の採集だけでなく色々楽しめたと思います。午前中は雨に降られてビチョビチョで採集することになりましたが、午後は晴れ間も見えて楽しい体験でした。

中でも、国内でも貴重な蛇のシロマダラ(死骸でした)を発見したことが大きな出来事です。

● (7月25日) 水辺の生き物観察

27名の親子が参加しました。

今回は、魚トラップを3種のえさ(ドッグフード、カップエビセン、ベビースターラーメン)で試みたところ、全てに釣果があり、意外なものがエサになることが分かりました。

また、ミナミアカヒレタビラを捕獲できたことが大きな成果でした。

参加者は、思い思いにトンボやチョウの捕獲を試みたり、水生昆虫と格闘するなどしていました。



● (8月9日) トンボ調査と標本作り



ねいの里のトンボを調査し、気に入ったトンボを標本にして持ち帰るといふ、夏休みにはもってこいの行事です。

ねいの里の元職員であり、トンボのエキスパートである中田講師に協力して頂き、標本作りのイロハを教わった子供たちは、濃く充実した内容に終始熱中。親御さんも童心に帰られる方が続出?でした。

調査の面では、この行事で近年記録のなかった「ミルンヤンマ」や、季節外れの「コヤマトンボ」を確認できたことが、いい収穫となりました。

● (9月5日) 「ちびっ子自然体験 3回目」

新型コロナウイルス感染対応のため中止

● (9月18日) チョウの鱗粉転写と秋の鳴く虫観察

新型コロナウイルス感染対応のため中止

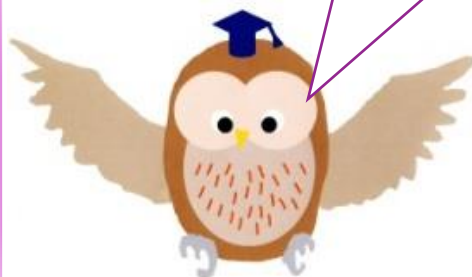
ふくろう先生より

昨年と今年のようなイベントが新型コロナウイルス感染対応のため中止となり、多くの皆さんにご迷惑をおかけすることとなっています。

ご利用いただく皆さんの健康を願いつつ、これからも感染対策を十分に実施してまいります。

また、臨時休館措置も解除され、9/27より通常通り開館していますので、是非ご来館ください。

ごめんなさいね!



ねいの里 これからの行事案内

(新型コロナウイルス感染対策のため中止することがあります)

● ~~10月3日(日)~~ キノコ狩りとキノコ鍋を楽しむ(共催; 自然塾の会)

● 10月24日(日) ハロウィン企画 森の宝探し

時間: 9:30~12:00 場所: ねいの里

対象者: 小学生とその保護者 定員: 10組 参加費: 1人200円

ネイチャーゲームや里山クイズを楽しみながら、ねいの里の森で宝探しを行います。

仮装してきたら参加費が半額に! 子どもの仮装には特別賞(2人)又は参加賞!



● 11月3日(祝) 雑木林探検(共催; 自然塾の会)

時間: 9:00~12:30 場所: ねいの里

対象者: 小中学生(小学生は保護者同伴) 定員: 30名 参加費: 200円/子供一人
樹木の枝切り体験、木登り体験及び木工細工体験をします。

切った枝で焚火もしますので、焼き芋や焼きマシュマロもできます。(材料は各自持参)

● 11月28日(日) クリスマスリース(共催; 自然塾の会)

時間: 9:30~12:00 場所: ねいの里

対象者: 一般 定員: 20組

参加費: 300円(リース1個)、自然塾の会会員は無料

木の実や枝を使ったクリスマスリースを作ります。

リース材料作りはだれでも参加できます。(11/14(日)9:30~12:00 ねいの里に集合)

写真募集中 (ねいの里の動物たち)

ねいの里では、ねいの里自然塾の会と協力してホームページの「動物の森」サイトを開設します。これに伴い、様々な動物の写真を募集しています。撮影日と氏名(ニックネームも可)をつけて、メールなどでねいの里にご送付ください。

詳細については、ねいの里までお問い合わせください。

***** <行事への参加希望の方は、ねいの里までお申し込み下さい。> *****
受付開始は、行事実施の1カ月前からになります。

■ 企画展・特別展示

- ・ 9/15~11/28 ねいの里キノコ写真展
- ・ 12/15~1/16 春の七草実物展
- ・ 12/25~3/27 富山県ナチュラリスト協会写真展
- ・ 通年 ねいの里40年の歩み展



俺は、待ってるぜ!!

○ 「ねいの里自然塾の会」会員の駐車場利用について

会員の方は、「ねいの里」行事への参加や施設の利用を前提に、ナチュラリスト駐車場を利用出来ます。



発行 富山県自然博物館ねいの里 館長 小杉 啓一
〒939-2632 富山県富山市婦中町吉住1-1
Tel 076-469-5252 / メールアドレス shizen@toyamap.or.jp
ホームページ <http://www.toyamap.or.jp/shizen/>